

海外客船誘致、課題は シポで 実現へ機運盛り上げ

酒田で 海外大型客船の誘致を旨指し、酒田の受け入れ態勢の在り方などを探る「酒田港外航クルーズシポシウム」が21日、酒田市のガーデンパレスみぎほで開かれた。基調講演はパネルディスカッションを通じて参加した約200人が課題を共有し、実現に向けて機運を盛り上げた。



外航クルーズ船の酒田誘致を目指し、課題や方策などを考察したシポシウム
＝酒田市・ガーデンパレスみぎほ

聞説委員長をコーディネーターに、パネリスト4人が「船会社や旅行会社、海外に宣伝しないと、山形に行かなければ」という理由がなくなる」などと発言。パネリストの一人、猪股氏は、酒田港の受け入れ環境が整っているとし、「2018年には大いに(寄港)期待が持てる」と述べた。

開会に先立ち、丸山酒造社長、吉村美栄子知事がこのシポシウムをきっかけに、外航クルーズ船の寄港が実現するよう期待している」などあいさつ。

瑞穂参院議員、カーニバル・ジャパンの猪股晋士雄、連盟会長の西川公也衆院議員、同連盟顧問の岸宏一参院議員、加藤純子衆院議員、酒田港が「インバウンド」海外からの旅行ニーズになる可能性が、視察。江島国交務官はシポシウム前に酒田港を視察。

上原修二酒田港務事務所

社の客船が寄港している市が主催。県や市などは来年度、プロスポーツ協会の「外航クルーズ船誘致委員会」を新設する方針を示している。

誘致手段として外航クルーズ船を迎え入れようとする

誘致手段として外航クルーズ船を迎え入れようとする

誘致手段として外航クルーズ船を迎え入れようとする

誘致手段として外航クルーズ船を迎え入れようとする

誘致手段として外航クルーズ船を迎え入れようとする